



平素はたいへんお世話になっております。塾長の桑井です。

今月で SOUMEI 塾は開塾から 4 年目に入ることができました。これも一重に保護者の皆様のご支援と子ども達の頑張りのおかげと心から感謝しております。高校進学の実績についても、昨年度は信明中から県ヶ丘に入った 4 名中 3 名が当塾の生徒だったという嬉しい結果もありました。

今後も保護者の皆様とともに、精一杯子ども達のサポートをして参ります。

## H28 度長野県公立高校入試問題の振り返り

### H28 年度の平均点は 263.5 点

先月、平成 28 年度長野県公立高校入試の平均点等の結果が教育委員会から公表されました。5 科平均点の合計は、H27 年度が 273.11 点だったのに対し、H28 年度は 263.52 点と、前年に比べて約 10 点低くなりました。これだけ低くなったのは、理科が前年に比べて 14.22 点も下がったことによります。

それぞれ科目別でみると、※（ ）内は前年度  
国 56.97 (56.77)、社 59.84 (55.73)、数 47.46 (49.46)、理 40.75 (54.97)、英 56.50 (56.32) となっています。

私の事前の予想は理科以外の 4 教科は±2 点の精度で当たっていましたが、理科は予想外に低い点数でした。この要因については後述します。

### 論述問題がさらに増加

問題の傾向は、一昨年、昨年に引き続き、さらに大きな変化が見られました。これらの変化は、この通信でもお伝えしてきた予想通りのものではありませんでしたが、ここまで大胆な変化があったのには私も驚きました。ここ 10 年ほどの中で最も大きな変化の年だったといえます。各教科に共通する点は、論述・記述問題の増加です。これは新指導要領を意識した傾向で、知識だけでなく、思考力・判断力・表現力を問う問題が増やされています。論述問題の割合を見ると 11.2% (H26) →18.4% (H27) と増え、さらにこの H28 年度は 25.8% まで増えてきました。この割合が上がっているのは全国的な傾向で、中には 40% 前後の県もありますので、今後もっと増えていく可能性もあります。受験においても「自分の考えを説明する力」が必要になってくるといえます。

したがって、日ごろから表現すること、書くことを訓練していくことが重要です。

### ◇各教科の傾向

#### <英語>

リスニングは昨年に引き続き、難易度が上がっています。日頃からネイティブの発音を聴いておきましょう。さらには、すべての問題のネイティブ発音を聴くことができるので、この点においてもとても有効です。

記述問題では、2 年前から出題されるようになった自由作文の問題が今年も出題されました。また、単語を答えさせる問題も、答えが一つでない自由度の大きな問題となったところが特徴的でした。また、使う単語は基本的なものでも、構文力が必要となってきました。

一方、文法では昨年までほとんど出題されなかった、不定詞・動名詞の用法を問う問題が出題されました。これは、文法知識よりも読解力・表現力を重視する最近の傾向とはそぐわない問題なので、あまり重視する必要はないと考えております。

また、英語について受験者全体の点数の分布は、H27 と同様の傾向でふたこぶ型のグラフになっているという特徴的なものでした。これは、二極化ともいえますが、問題の内容が、一定の英語力がある人にとっては簡単だが、そうでない人にとっては難しいという、印象を与えるものになっているということです。この「一定の英語力」をつけるためには、基本文法を理解して構文力を養うことがポイントだ



と考えております。この辺りは現在の学校の授業ではなかなか身につけにくいものなので、塾の勉強や宿題にしっかり取り組むことで鍛えていってほしいです。

### <数学>

全体の構成は変わりませんでした。問1の計算問題は複雑なものは出題されず、基本的なものだけになっています。それだけに、計算ミスは許されず100%確実に取りたいところです。

出題傾向では、最近の傾向である、解き方・考え方を問う記述形式の問題が目に見えて増えました。より一層、知識だけにとどまらない理解と表現力が必要となってきたといえます。これについては、理解するだけでなく、言葉で説明する力も必要となるので、普段から、ノートに答えだけでなく解き方を書く習慣を身に付けてください。中学のテストでもこれらを意識した問題が出題されるようになっていっていますので、出てきたものについては、面倒くさがらずに解き直してできるようにしておきたいです。

### <社会>

大問の構成は昨年に続いて大きな変化がありました。昨年までは、地理、歴史、公民がそれぞれの大問となっていましたが、H28年度は、それに加えて、問1で地理・歴史・公民の融合問題が出題されました。これは私も以前から予想していたところののですが、大問まで変わったのには驚きました。そのほか、北陸新幹線の開通に関する問題が出題され、このような時事的な問題も今後出題され

てくるもの考えられます。

また、論述問題の増加は社会科においても例外ではありません。特に資料を読み取り、その特徴や考察を説明すること、事柄の原因、理由を説明することを日頃から訓練していきましょう。

### <国語>

大問の構成は変わりませんでした。問1で80字以上100字以内というこれまではなかった長い論述問題が出題されました。これに戸惑った受験生が多かったようです。

文法では、頻出の動詞の活用に加えて、品詞分類が出題されました。また、これまであまり出題されていなかった「熟語の構成」が出題され、文法についても広い知識が要求されています。古文についてはオーソドックスな問題でした。

国語においてはなおさら文章での説明力を鍛えていく必要があります。

### <理科>

大問の構成は変化なく、広く各分野から出題されましたが、内容では、昨年は記述問題が増えましたが、H28年度はさらに、理由を説明する論述問題が多く出題されました。

平均点が低かった要因は、論述が増えたこともありますが、計算を要する問題の正答率が低かったようです。知識問題も隙間をつくようなものも多く出題されていました。しかしながら、知識は基本的なもので十分高得点はとれますので、それらに加え、実験の方法、意味を考え理解することを常に意識しながら勉強することが重要といえます。

## すさら学習ランキング

すさらの学習量の校内ランキングです。

<期間>2016年5月30日~6月30日まで

※名前はハンドルネーム

### 【学習時間ランキング】

- 1位 10時間 18分 55秒 : hotelniiru
- 2位 9時間 24分 12秒 : ひかる
- 3位 8時間 33分 13秒 : ななしさん
- 4位 6時間 35分 29秒 : Alpha
- 5位 6時間 10分 47秒 : ★7 ゆいが
- 6位 5時間 47分 05秒 : UMR
- 7位 5時間 46分 37秒 : さいたま
- 8位 5時間 46分 25秒 : Fox
- 9位 5時間 07分 22秒 : rish
- 10位 4時間 27分 32秒 : F D

### 【クリアユニット数ランキング】

- 1位 18ユニット : ななしさん
- 2位 16ユニット : Fox
- 3位 15ユニット : ひかる
- 4位 12ユニット : F D
- 4位 12ユニット : Alpha
- 5位 10ユニット : TKO
- 5位 10ユニット : hotelniiru
- 5位 10ユニット : rish
- 6位 9ユニット : ★7 ゆいが
- 6位 9ユニット : サッカー部



## お知らせ

### ●夏期講習のお知らせ

夏期講習の受付を開始しました。今年は松本市の小中学校の夏休みが例年より長いので、講習期間もそれに合わせて長く設けております。子どもたちには、勉強、部活、遊びもすべてを頑張ってもらいたいです。受験生は申すまでもありませんが、どの学年の子たちも長い夏休みを無駄に過ごしてしまうことがないように、塾の講習もぜひご活用いただき有意義な時間をお過ごしください。

夏期講習の詳細・お申し込みについては、別紙のご案内をご覧ください。

#### 【平成 28 年度 SOUMEI 塾夏期講習】

対 象：小学 5・6 年生、中学 1～3 年生、高校 1～3 年生

期 間：7 月 30 日（土）～8 月 27 日（土）※開講時間は別紙をご覧ください。

内 容：1 学期までの総復習。中・高生は、学力診断テスト有り（無料）。

受講回数をお選びいただけます。

5 回（10 時間）コース、10 回（20 時間）コース、15 回（30 時間）コース

即アップ（無制限）コース\*

※通常授業に追加して行う授業です。カリキュラムは、個々の生徒のご希望や受講回数に応じて最適なものを作ります。

※塾内生の皆様は割引価格で受講いただけます。

※即アップコースについて

開校日は原則毎日塾に来ていただきます。更に、何時間でも塾に滞在していただいて構いません。塾での勉強を 100 時間以上確保することを目指す特訓コースです。すぐに結果を出したい方や、少しも時間を無駄にできない受験生にお勧めです。昨年度は実際に 100 時間以上塾で勉強して、学校では無理だと言われていた高校に見事合格した生徒さんもいました。

### ●ご紹介制度について

現在、水曜日の 17：30～19：30 の時間帯は満席となっております。その他の時間帯は空きがありますが、夏には満席でお断りすることもあり得る状況となっております。残席につきましては、在校生とその保護者の方からのご紹介を優先させていただきたいと考えております。ご紹介などございましたら、お早目にお知らせくださいますようお願い申し上げます。新規生をご紹介くださるときは「ご紹介カード」をお使いください。ご紹介者の方には 2,000 円の図書カードを進呈させていただいております。

### ●中学生理科・社会授業のご案内

通常授業では、主に「すらら」を使用した、英語・数学・国語の学習をしていますが、内申点や入試を考えた場合にはやはり 5 教科すべてを学習すべきだと思っております。しかし、週 1、2 回の通塾では時間が足りません。そこで、それを補うため、理科・社会については、希望者の方に、定期テスト毎に追加（有料）で授業を行っております。日程につきましてはご希望に沿って決めさせていただきます。

### ●プレミアムコース開設

当塾では「すらら」での自立学習を主体としておりますが、学年トップを目指したい、あるいは苦手科目を克服したい、などのご要望に対応するため、今回新たに塾長が直接指導する**プレミアムコース**を開設いたしました。授業料は 1 時間当たり 2,400 円となります。

生徒一人ひとりに合わせたオーダーメイドの授業を、よりハイクオリティでご提供いたします。時間割等は塾長までお問い合わせください。



## ちょっと紹介

昨年から、2か月に1回程度ですが、ボランティアでお手伝いしている施設の子ども達と「ボルダリング」をしに行っています。壁のでっぱり（ホールド）を使って登っていくスポーツです。



このスポーツ、子どもの脳と身体の発達にとっても良いと感じます。手足を使って自分の重みを感じてバランスを取りながら体を制御していきます。シンプルですが脳への刺激がたくさんあって、現代生活で足りないものを補える気がします。ボルダリングなどのスポーツクライミングは、東京オリンピックには競技として採用されるかもしれないそうですね。近くによい施設があるのでご家族でされてみてはいかがでしょうか。

<ボルダリングパーク>Edge and Sofa (エッジアンドソファ)

〒390-0851 松本市島内 4179-1 TEL 0263. 31. 6183

## 海外旅行記 チュニジア編⑦



今回は、チュニジアの街で見かけた日常的な風景などについて書きたいと思います。

チュニジアはフランスの植民地であったので、フランス式のテラス席のあるカフェがたくさんあります。そして、そこがおじさんたちのたまり場となっています。今どきの日本のおしゃれなカフェとは正反対のイメージですね。おじさんたちは、朝から、お茶をしながらトランプやドミノをしたり、水パイプを吸ったりしています。

チュニジアは農業と観光の国で経済水準はあまり高くないので、仕事もあまりないのだそうです。それでも、「貧困国」という悲壮感はまったく感じず、みなのおんびり、ほのぼの、という印象でした。

首都のチュニスの新市街地はヨーロッパっぽい風景もあり、メトロと呼ばれる路面電車が走っています。その電車に乗っているとき車内を歩き回る物乞いの人を見ました。その人は手をお椀のようにしてお金を恵んでもらっているのです。先頭の車両の方から歩いてきて、私の前を通り過ぎました。そして、後方の車両まで行って帰ってくると手の上にはこぼれ落ちそうなくらい山盛りのコインが積まれていました。チュニジアに行く前は、貧しい国ならもっと人に冷たくなるのではという勝手なイメージをもっていました。現地の人のお話を聞くと、イスラムでは、富めるものがそうでないものを助けるは当たり前のことなのだそうです。アラブについても、がさつでマナーが悪いイメージを持っていましたが、それも偏見でした。例えばバスに乗って、年配の女性が乗ってくると、若い男子は率先して席を譲っていました。特に女性は年齢に関わらず大切に扱われています。西洋社会から見ると人権侵害と言われますが、イスラムの教えでは女性は守るべき存在なのだそうです。



人の温かさと言えば、以前にも書きましたが、私自身も温かい対応を何度もしてもらいました。そういうときは、国や人種、民族は関係ないのだなあ実感したものでした。

人の温かさと言えば、以前にも書きましたが、私自身も温かい対応を何度もしてもらいました。そういうときは、国や人種、民族は関係ないのだなあ実感したものでした。

## 塾長雑感

◇七夕に食べる甘い「ほうとう」はこの松本地域独特のものだったのです。私は小さい頃祖母が旧暦の七夕に作ってくれるあんこであえたほうとうが大好きでした。「ほうとう」というとそのイメージだったので、初めて山梨で名物のほうとうを食べたときはびっくりしましたが、全国的にはそちらの方がメジャーなのですね。最近は七夕にほうとうを食べる家庭も少なくなったと聞きます。私も最後に食べたのが三十年も前ですが、先日デリシアに売っているのを見つけたので今年は食べようと思っています。

